	重点
学校経営	<ul><li>◎校訓「『健(すこやかに)』いたわり合い、励まし合い、学び輝く」のもとに、児童生徒一人一人の病気や障がいの状態に応じた適切な支援を通して、「児童生徒一人一人が輝く」教育を目指す。</li><li>・総合化された特別支援学校として様々な病障がいに対応した合理的配慮な提供するという。</li></ul>
	を提供するとともに、地域のセンター的機能を担う。 ・「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」の策定や活用を通し て、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、家庭、地域社会、医
	療、福祉等関係諸機関との連携のもと、長期的な視点に立った教育的支援を行う。
	◎児童生徒の命を守りきることを最優先に考え、全職員が危機意識をもって、安心して安全に過ごすことができる環境を形成する。
研 修	<ul><li>◎教職員の資質の向上と豊かな人間性を目指し、幅広く体験的な研修を計画的に実施して確かな指導力・授業力の向上を図る。</li><li>・主題研究を通して児童生徒理解の目指す姿を整理し、系統的な授業づく</li></ul>
	りに取り組む。 ・校内の人材や地域資源等を有効に活用し、教職員の資質を高める研修を
教科指導	計画・実施する。  ◎「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」を活用して、一人一人の進度や学習空白、興味・関心等を的確に把握し、評価の観点を明確に
	するとともに、きめ細かな支援を展開する。 ・体験的な学習を通した基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに ICTの効果的な活用や学習形態・学習内容の工夫等による個に応じた支援と評価の充実を図る。
道徳教育	<ul><li>○教育活動全体を通して心のふれ合いや助け合いを大切にし、温かい人間 関係を醸成する。</li></ul>
	<ul><li>・かけがえのない命を大切にし、協力して強く明るく生きようとする意欲と態度を育てる。</li></ul>
	・教育活動全体を通して指導の充実を図ることで、社会生活を送るために 必要なルールやマナーを、個々の状況に応じて経験を拡充しながら体得 できるようにする。
外国語 外国語活動	◎身近な生活の中で見聞きする外国語への興味・関心を育て、日本と外国の言語や文化の違いや様々なものの見方や考え方について、体験的に理
(小学部)	解を深められるよう指導方法を工夫する。 ・コミュニケーション能力の素地を養うために、異なる文化の人々と交流 等の体験の拡充を図るとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親
\$\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	しむことができる環境の充実を図る。 ◎自然体験やボランティア活動・就業体験・交流活動等、児童生徒が体験
総合的な 学習 (探	したり問題解決に取り組んだりする学習を積極的に取り入れ、自ら問題 を解決したり進路を切り拓いたりしていくための資質や能力を育てる。
究) の時間	・異年齢集団やグループ学習等の集団構成の工夫、情報機器の活用、地域 資源の活用等、地域や学校の特色が出るよう努める。
特別活動	<ul><li>◎学級活動や児童生徒会・委員会活動・全校集会を通して、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする児童生徒の自主的な態度を育てる。</li><li>・小学校・中学校・高等学校の児童生徒や地域の人々との交流及び共同学習を行い、社会性や豊かな人間性を育てる。</li></ul>
自立活動	<ul><li>◎自立活動の時間や学校生活全体を通して児童生徒が障がいの状態や特性、発達段階等に応じて、主体的に自己の力を発揮し、よりよく生きて</li></ul>
	いこうとする姿を育成する。 ・「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」を活用して、個に応じた支援の在り方等を常に評価し、修正を図りながら効果的な支援を行う。

生徒指導	<ul><li>◎社会生活や登下校におけるルールやマナー、安全に関する学習を年間を 通して計画的に行い、基本的生活習慣や生活全般及び社会生活における 望ましい生活態度を育成する。</li><li>・児童生徒一人一人が安心して充実した学校生活を送れるよう、病障がい の状況や行動特性等の情報を共有し、全校体制による支援を行う。</li></ul>
進路指導	<ul><li>◎「個別の教育支援計画」「キャリア・パスポート」を活用し、外部機関との連携を図る中で、児童生徒が将来の夢や希望の実現に向けて主体的な進路選択ができるように支援を行うとともに、社会自立・職業自立に向けた実践力を育成する。</li><li>・保護者及び本人への必要で十分な進路情報の提供に努める。また、職場開拓や卒後指導・支援より、必要な情報の収集に努める。</li></ul>
健康教育	<ul><li>◎全校体制で健康、安全に関する管理と教育を効果的に進めるとともに、 疾病や事故、災害の防止に万全を期す。</li><li>・一人一人の病障がいの状況に配慮し、生活習慣の確立と自主的に健康を 管理する力を育成する。</li></ul>